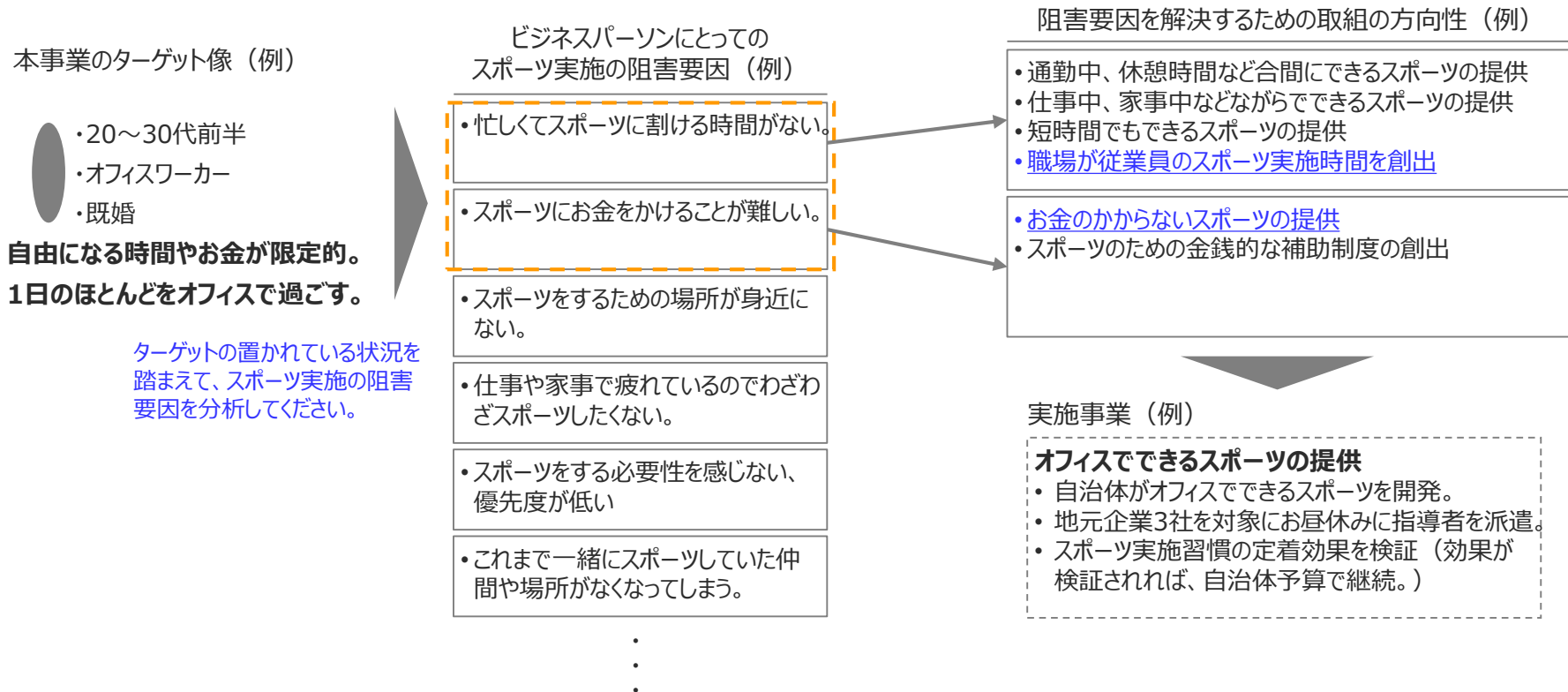


参考資料 1. 「事業の狙い」と「事業の実施内容」の記載イメージ

- ①子供（主に未就学児～小学校低学年）、②ビジネスパーソン、③女性のスポーツ実施を妨げている要因には様々なものが考えられます。全ての子供、全てのビジネスパーソン、全ての女性を対象に効果的な事業を実施することは難しいため、こういったターゲットのこういった阻害要因を解決するための事業を提案しようとするものであるかを明記してください。

- スポーツ実施の阻害要因は、その置かれている状況に応じて様々です。
- 本事業におけるターゲット（属性など）とその特徴を明確にしてください。
- 本事業におけるターゲットにとっての阻害要因を明確にしてください。

- 提案事業の内容はターゲットのスポーツ実施の阻害要因を解決するための取組となっている必要があります。



※（1）2）事業の狙い（ターゲットとそのスポーツ実施を妨げている要因）の項目に記載してください。

※左記を踏まえ、（2）1）事業の実施内容の項目に記載してください。

(参考) スポーツ実施の阻害要因と解決するための取組の方向性の例 (①子供)

- 「①子供」のスポーツ実施の阻害要因と阻害要因を解決するための取組の方向性としては、例えば以下のようなものが挙げられます。

スポーツ実施の阻害要因 (例)	阻害要因を解決するための取組の方向性 (例)
<ul style="list-style-type: none"> 自由に遊べる空き地や生活道路が減り、運動・スポーツ (外遊びなど含む) できる場所が限られている。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動・スポーツが可能な空きスペース利用 公共施設 (学校、公園など) の確保 スペースがなくてもできるスポーツの開発
<ul style="list-style-type: none"> 楽しみながら多様な動きを身に付けることができる機会がない。 	<ul style="list-style-type: none"> 幼児期・小学生 (主に低学年) に対して運動遊びを提供 重要性を保護者に対して周知・啓発
<ul style="list-style-type: none"> 楽しみながら多様な動きを身に付けることができる機会を提供できる人材が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> プレイリーダー養成の検討と実施 プレイリーダーの活動の場の提供
<ul style="list-style-type: none"> 保護者に子供の運動・スポーツ実施をサポートするだけの時間がない。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者が仕事や家事のついでに利用できるサービスの提供 子供が自分で通える、送迎が利用できるサービスの提供 自宅でできるスポーツの提供 小さい子供と一緒にできるスポーツの提供
<ul style="list-style-type: none"> 保護者に子供の運動・スポーツ実施をサポートするだけのお金がない。 	<ul style="list-style-type: none"> お金のかからないスポーツの提供 スポーツのための金銭的な補助制度の創出
<ul style="list-style-type: none"> 保護者が子供に運動・スポーツを実施させる必要性を感じていない、優先度が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> 子供のころに運動・スポーツを実施することの重要性、効果を周知・啓発 スポーツ・運動の価値・効果を体感する機会を提供

(参考) スポーツ実施の阻害要因と解決するための取組の方向性の例 (②ビジネスパーソン)

- 「②ビジネスパーソン」のスポーツ実施の阻害要因と阻害要因を解決するための取組の方向性としては、例えば以下のようなものが挙げられます。

スポーツ実施の阻害要因 (例)	阻害要因を解決するための取組の方向性 (例)
<ul style="list-style-type: none"> • 忙しくてスポーツに割ける時間がない。 	<ul style="list-style-type: none"> • 通勤中、休憩時間など合間にできるスポーツの提供 • 工作中、家事中などながらでできるスポーツの提供 • 短時間でもできるスポーツの提供 • 職場が従業員のスポーツ実施時間を創出
<ul style="list-style-type: none"> • スポーツにお金をかけることが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> • お金のかからないスポーツの提供 • スポーツのための金銭的な補助制度の創出
<ul style="list-style-type: none"> • スポーツをするための場所が身近にない。 	<ul style="list-style-type: none"> • これまで自由できなかった公共施設の開放 • 空き家や空きスペースの開放 • 自宅でできるスポーツの提供 • 特に場所を必要としないスポーツの提供
<ul style="list-style-type: none"> • 仕事や家事で疲れているのでわざわざスポーツしたくない。 	<ul style="list-style-type: none"> • 疲れを癒やすスポーツの提供 • 疲れないうちに楽しめるスポーツの提供
<ul style="list-style-type: none"> • スポーツをする必要性を感じない、優先度が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> • スポーツ・運動の価値・効果 (スポーツ・運動不足によるリスク) に関する情報の提供 • スポーツ・運動の価値・効果を体感する機会の提供
<ul style="list-style-type: none"> • これまで一緒にスポーツをやっていた仲間や場所がなくなってしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> • 職場における仲間づくり、場づくりの支援 • 居住地域における仲間づくり、場づくりの支援 • オンライン上で仲間と一緒にできるスポーツの提供 • 一人でもできるスポーツの提供

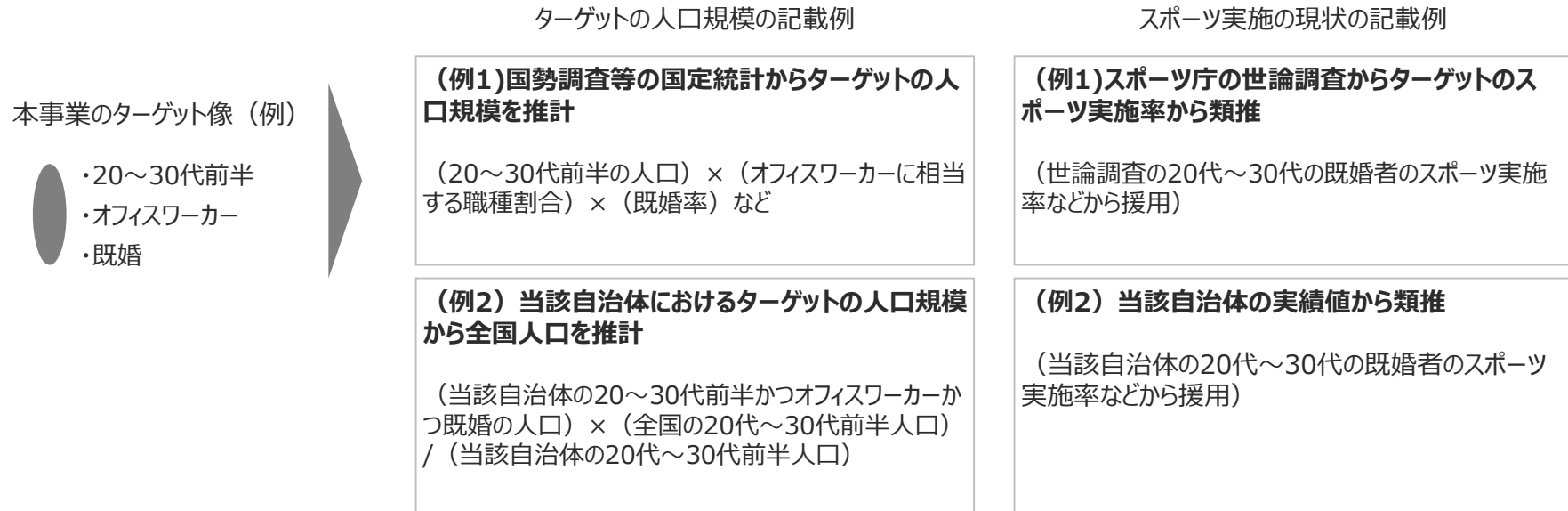
(参考) スポーツ実施の阻害要因と解決するための取組の方向性の例 (③女性)

- 「③女性」のスポーツ実施の阻害要因と阻害要因を解決するための取組の方向性としては、例えば以下のようなものが挙げられます。

スポーツ実施の阻害要因 (例)	阻害要因を解決するための取組の方向性 (例)
<ul style="list-style-type: none"> • 忙しくてスポーツに割ける時間がない。 	<ul style="list-style-type: none"> • 通勤中、休憩時間など合間にできるスポーツの提供 • 工作中、家事中などながらできるスポーツの提供 • 短時間でもできるスポーツの提供 • 職場が従業員のスポーツ実施時間を創出
<ul style="list-style-type: none"> • 育児に手を離せない。 	<ul style="list-style-type: none"> • 小さい子供と一緒にできるスポーツの提供 • 託児サービスとセットでのスポーツの提供 • 自宅でできるスポーツの提供
<ul style="list-style-type: none"> • スポーツにお金をかけることが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> • お金のかからないスポーツの提供 • スポーツのための金銭的な補助制度の創出
<ul style="list-style-type: none"> • スポーツをするための場所が身近にない。 	<ul style="list-style-type: none"> • これまで自由ことができなかつた公共施設の開放 • 空き家や空きスペースの開放 • 自宅でできるスポーツの提供 • 特に場所を必要としないスポーツの提供
<ul style="list-style-type: none"> • 仕事や家事、育児で疲れているのでわざわざスポーツしたくない。 	<ul style="list-style-type: none"> • 疲れを癒やすスポーツの提供 • 疲れないうちに楽しめるスポーツの提供
<ul style="list-style-type: none"> • スポーツをする必要性を感じない、優先度が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> • スポーツ・運動の価値・効果 (女性ならではのスポーツ・運動不足によるリスク) に関する情報提供 • スポーツ・運動の価値・効果を体感する機会の提供
<ul style="list-style-type: none"> • スポーツへの苦手意識がある。 	<ul style="list-style-type: none"> • 従来とは異なるイメージのスポーツの提供 • スポーツへの苦手意識を払しょくする、スポーツへの好印象を植え付けるようなスポーツの提供 • 「スポーツ」に対するイメージを変える情報発信
<ul style="list-style-type: none"> • 周囲の目が気になる。(化粧がおちる、汗をかく、体のラインが見えるなど) 	<ul style="list-style-type: none"> • 周りで見られてもよい (見られたい) と思えるスポーツサービスの提供 • 周りで見られない環境でのスポーツの提供
<ul style="list-style-type: none"> • これまで一緒にスポーツをやっていた仲間や場所がなくなってしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> • 職場における仲間づくり、場づくりの支援 • 居住地域における仲間づくり、場づくりの支援 • オンライン上で仲間と一緒にできるスポーツの提供 • 一人でもできるスポーツの提供

参考資料 2. 「事業の現状（人口規模、スポーツ実施状況）」の記載イメージ

- 国の統計調査や事業実施地域の自治体の調査結果などを援用してターゲットの人口規模やスポーツ実施状況についてできるだけ定量的に推計してください。
- 厳密な数値の調査を求めるものではありませんので、利用可能な調査結果などを活用して、推計してください。



- 「事業の現状（人口規模、スポーツ実施状況）」の項目は、人口規模とスポーツ実施の現状から、本事業が我が国におけるスポーツ実施者の増加にどの程度寄与する可能性を秘めているかをご提案していただくものです。従って、直接的な事業対象人数ではなく、本実証実験の成果を横展開した場合、全国でどれだけの人が対象になりうるかを記載してください。